

陳情第 9 号  
平成 28 年 8 月 19 日

国立市議会議長 中川 喜美代 様

## 特殊詐欺被害防止のための自動通話録音機に関する陳情

(陳情の趣旨)

平成 27 年の都内における特殊詐欺の発生件数は 1 8 7 9 件、被害総額は約 6 7 . 3 億円にも上ります。国立市におきましても、平成 2 8 年 1 月に知人を名乗る男からの電話で、現金 3 千万円をだまし取られた事件が発生したことは記憶に新しいところでございます。

このような状況の中、東京都においては平成 2 7 年度の緊急対策事業として、区市町村や警察署の協力のもと、2 万台の自動通話録音機の無料貸し出しを行っているところであり、国立市におきましても 9 0 台の自動通話録音機の貸し出しを実施していただいているところではありますが、現在まで自動通話録音機の設置世帯の被害認知はない等、設置効果も非常に高いものと認められます。

東京都におきましては、平成 2 8 年度、自動通話録音機設置促進補助金事業を実施し、引き続き自動通話録音機の設置を促進していくこととしていることから、国立市におかれましても、本事業につきまして早急に実施していただきますよう陳情いたします。

交付

2 号  
加筆

(陳情事項)

依然として深刻化する特殊詐欺の現状を踏まえ、警告メッセージと録音機能により被害を未然に防止できる「自動通話録音機」の無償貸し出し事業を、今年度についても早急に実施されること。